

会告 建築仕上環境フォーラム運営委員会

第 11 回「建築仕上環境フォーラム」のご案内

私たちは現在、大量生産、大量消費型の社会経済活動により生じた様々な問題に直面しており、建築をとりまく環境においても新しい課題が日々生じつつあります。このような状況下で、建築仕上げ分野では、今後も時代の変化に即した持続性のあるものを生み出していく必要があります。その取り組みの一環として、建築仕上環境フォーラムでは、過去 10 回に渡り、産官学が一同を介して横断的な情報交換を行ってきました。そのテーマは、その時々で問題となっている事や話題となっている事を取り上げてきました。

第 11 回目となる今回のフォーラムでは、「環境」の枠組みを取り払い、最近どこを見ても、誰に聞いても問題視されている「職人不足」について取り上げる予定です。

現在はかつてない職人不足に直面しており、その理由の一つにこれまでの職人の賃金の減少の一途が挙げられます。1997 年と比較すると、この 15 年で日単価が 1 万円程度減少したとされています。そこで公共工事設計労務単価について増加の措置がとられましたが、それでも職人不足は解決できておらず、今度は 2020 年の東京五輪開催まで、外国人労働者の受け入れを拡大する時限的措置を導入する予定のようです。

元請としては労務改善や工期短縮に関して、下請としては技能教育など様々な取り組みがなされています。今回の建築仕上環境フォーラムでは、“職人不足に対する建築仕上げ分野の対策と展望”というタイトルの下、職人不足の実態、専門工事業の現場の実態と対策、技能教育の現状等に関する講演を行い、その後の討論による意見交換から、今後のあり方を会場の皆様と共に考えたいと思います。

本フォーラムの趣旨をご理解頂き、「第 11 回 建築仕上環境フォーラム」への多数のご参加をお願い致します。

*今回のフォーラムは CPD (Continuing profession Development 継続教育) 認定プログラムとなっています。

開催日時：2015 年 4 月 15 日 (水) 13:30~17:00

会 場：明治大学 グローバルフロント 3 階 4031 教室

東京都千代田区神田駿河台 2-1 〒101-0062 TEL：03-3296-4644

参加費：日本建築仕上学会会員・協賛団体会員 3,000 円、会員外 5,000 円、学生 1,000 円
(資料代含む)

*参加費は当日受付でお支払いください

協賛団体：一般社団法人全国防水工事業連合会、一般社団法人日本左官業組合連合会
一般社団法人日本塗装工業会 (五十音順)

プログラム

タイトル：「職人不足に対する建築仕上げ分野の対策と展望」

(総合司会：石原沙織・フォーラム運営委員・千葉工業大学助教)

(記録：朝吹香菜子・フォーラム運営委員・国士舘大学准教授、

横井健・フォーラム運営委員・東海大学講師)

1. 開会挨拶

(田村雅紀・フォーラム運営委員長、工学院大学建築学部) (13:30-13:40)

2. 基調講演

職人不足に対応する今後の仕組み改善 (芝浦工業大学・教授 蟹澤宏剛氏) (13:40-14:30)

3. 講演

- ・外壁仕上工事の現場の実態と対策（一般社団法人 日本塗装工業会・専務理事 竹内金吾氏）
(14:30-14:55)
- ・防水工事業の現場の実態と対策（一般社団法人 全国防水工事業協会・常任理事 井上良夫氏）
(14:55-15:20)
- ・左官工事業における取り組み（一般社団法人 日本左官業組合連合会 米本順平氏）
(15:20-15:45)

～10分休憩～

4. パネルディスカッション(15:55-16:50)

(コーディネータ：安藤・間 建築事業本部技術部 増田隆行氏)

5. まとめ

(遊佐秀逸・フォーラム前委員長・ベターリビング)

1. フォーラムの開催概要

- 第1回 平成16年1月 建築環境仕上フォーラム記念講演会（東京大学）
- 第2回 平成16年5月 建築仕上げ材リサイクルの様々な課題（東京大学）
- 第3回 平成16年9月 建築仕上げ材リサイクルの様々な課題（東京大学）
- 第4回 平成17年2月 建築仕上げ材リサイクルの様々な課題（東京大学）
- 第5回 平成20年1月 建築仕上げ材の分別解体（明治大学）
- 第6回 平成21年9月 アスベスト問題の対策の方向性と課題（明治大学）
- 第7回 平成22年11月 ペット共棲住宅（秋葉原ホール）
- 第8回 平成24年4月 建築物長期使用のための外装・防水の維持保全（明治大学）
- 第9回 平成25年3月 光触媒技術の建築仕上げへの応用（明治大学）
- 第10回 平成26年3月 フォーラム設立10周年記念講演会
「木材の積極利用に向けた内外装の木質化及び構法開発」
- 第11回 平成27年4月 開催予定

2. フォーラム情報の蓄積

- (全体・施策論)
建設リサイクル法の枠組み、経産省リサイクルガイドラインの枠組み、建設資源循環論、建設組織・担い手論
- (要素・技術論)
セメント、コンクリート、ALCパネル、窯業系サイディング、化粧スレート、板ガラス、廃ガラス発泡骨材、ガラス再資源化セラミック、石膏ボード、木材、パーティクルボード、木質繊維板、アルミサッシ、金属屋根、金属サイディング、かわら、たたみ、ロックウール、発泡ポリスチレン、発泡ウレタン、グラスウール、塩化ビニル壁紙、塩化ビニル管・継手、塩化ビニル床材、樹脂サッシ、カーテンウォール
防水工事、ユニット工法、躯体保護工法、光触媒技術、廃棄物処理を含むLCA、資材回収システム、資源循環性評価、解体工法・解体労力の評価、分別解体工事の指針類。
*上記は全講演分の全体またはその一部として登場した内容である



(過去のFinex記事: 国立情報学研究所CiNiiより <http://ci.nii.ac.jp/>)

3. フォーラムの基本方針とレゾリューション策定

「人間・安全・健康」、「資源循環」の2つを主テーマとし、建築仕上げが与える様々な環境の影響や状態について、産官学一同が寄り合い幅広く考え、共通認識を高める取り組みとする。テーマに応じてレゾリューションを策定し広く提示する。
第6回レゾリューション「建築仕上げに係るアスベスト対策」
<http://www.finex.jp/Information/s-kankyo-asbestos.html>

4. 平成26年度 フォーラム運営委員会

- 委員長：田村雅紀（工学院大学）
- 幹事：古賀純子（国土技術政策総合研究所）
- 委員：石原沙織（千葉工業大学）
朝吹香菜子（国土館大学）
横井 健（東海大学）
小山明男（明治大学）
大澤 悟（竹中工務店）
本橋健司（芝浦工業大学）
近藤照夫（ものづくり大学名誉教授）
遊佐秀逸（ベターリビング）
菊池雅史（元フォーラム委員長）

